写真／あやめの花（三川町）

庄内総合支庁ニュース

令和２年 **8** 月号　（偶数月に発行します）

県ホームページでもご覧いただけます。
https://www.pref.yamagata.jp/purpose/koho/kohoshi/7337001ShonaiNews.html
支庁ニュースHP

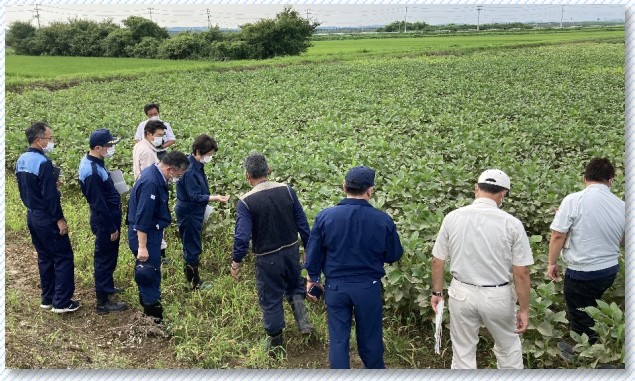
庄内総合支庁 Facebook
Facebookはこちら▶

大雨による庄内地域被災現場　知事視察

8月3日（月）、吉村知事が庄内地域を訪れ、7月27日からの大雨による被災地現場5か所を視察しました。

はじめに訪れた庄内町千本杉では、生産者の石川さんから、また京田川を挟んだ対岸の鶴岡市楪（ゆずりは）では、生産者の沓澤さんから、それぞれ冠水被害を受けた大豆についての説明を受けました。どちらの畑も被害面積が10haにも及ぶ広大な畑でした。

その後三川町青山に移動し、佐藤町内会長から当日の浸水した集落の状況について説明を受けました。自宅が床上浸水の被害を受けた佐藤さんからは、避難準備の恐怖や被害の様子についてお話を伺いました。
※三川町青山の浸水被害：
　住家3件（床上1件・床下2件）・非住家4件



だだちゃ豆の被害について説明を受ける

ワイン貯蔵庫の被害状況を視察

湯野沢町内会長から説明を受ける吉村知事

続いて、鶴岡市湯野沢に移動し、冨樫町内会長から腰に迫る浸水深となった当日の状況について説明を受けました。その後、えだまめ畑に移動し、生産者の上野さんからだだちゃ豆の冠水被害について説明を受けました。
※鶴岡市湯野沢の浸水被害：
　住家11件（床上1件・床下10件）・非住家27件

最後に、JA庄内たがわ月山ワイン山ぶどう研究所（鶴岡市越中山）のワイン貯蔵庫の浸水被害の状況を視察しました。この施設では、大雨で増水した沢水が土砂とともに貯蔵庫に流れ込み、約7千本のワインが泥水の浸水被害を受けました。
新聞社の取材を受けた知事は、「庄内では農業被害の大きさを感じた」と話していました。

（総務課防災安全室）TEL 0235-66-4791

県では、豪雨による被害者支援のための義援金の受付を開始しました。温かいご支援をよろしくお願いします。

▶ 山形県　令和2年7月豪雨　義援金

知事と若者の地域創生ミーティングin鶴岡市

7月15日(水)、鶴岡市立農業経営者育成学校「SEADS」を会場に「知事と若者の地域創生ミーティング」が開催されました。

高校生、観光、農業、飲食業など様々な分野で活躍している10代から40代の若者10名と吉村知事、皆川鶴岡市長がソーシャルディスタンスを保ちながら車座になり、日ごろ感じていることや取り組んでいることなどを語り合いました。

参加者からは、「『山形に暮らしているのがうらやましいだろう』と言えるようにしたい。」「中国との青少年交流事業に参加し、悪いイメージだった中国の印象が180度変わった。直に触れて交流することが重要だと感じた。将来、地元と外国をつなぐような仕事がしたい。」「県外からのお客様は、いつでもおいしい魚が食べられると思って来る。悪天候で漁に出られない冬場でも、おいしい魚を安定供給できないか取り組んでいる。」「若い農家を増やしたい。自分が農業で安定した生活を送ることで、新規就農者が増えるのではないか。」など、様々な発言がありました。

吉村知事からは「鶴岡の強みは多彩さ。異業種の方々がつながり、相乗効果が生まれる。このミーティングをきっかけに交流を深め、ますます地域で活躍してほしい。」との言葉がありました。

ミーティング終了後、参加者同士で名刺交換や情報交換で盛り上がり、早速、異業種間の交流が始まっていました。みなさんの活躍により、ここ庄内がますます元気になることが期待されています。

また、地域創生ミーティングに先立ち、吉村知事は鶴岡市立農業経営者育成学校(SEADS)実践ほ場で、研修生13名の作業を見学し、研修生と記念撮影を行いました。

(総務課) TEL 0235-66-5598

今、注目の職業！“看護師”の魅力を発信！

新型コロナウイルス感染症の流行により医療現場への注目が高まっている中、庄内保健所では、看護師の魅力に触れ進路の一つとして考えてもらうきっかけづくりのため、「看護師の仕事を学ぶ学習会」を開催しています。

6月16日(火)は鶴岡市立温海中学校の2年生48名、7月3日(金)は酒田南高校の1～3年生13名に対して学習会を開催しました。

このうち酒田南高校では、同校の卒業生で日本海総合病院に勤務する池田彩佳看護師から「看護師の仕事の魅力」についてお話しいただいた後、「正しい手洗い方法」を体験し、庄内保健所の保健師が「看護師資格の取得方法」について説明しました。

生徒からは「患者さんの心のサポートも仕事の一つということを知り、改めてすごいと思った」「実際今働いている人の話を聞いてイメージが膨らみ、進路選択に役立てられそう」といった感想がありました。

なお、この学習会は小中高生を対象に実施しており、申込みは随時受け付けています。

(保健企画課)
TEL 0235－66－4736

手洗いチェッカーで
洗い残しを確認している様子

ジェットスター復便記念おもてなし（7月23日）

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、4月8日から運休していた格安航空会社（LCC）ジェットスターの庄内―成田便が7月23日（木・祝）、約3か月半ぶりに運航が再開され、庄内空港では歓迎の放水アーチで到着便を迎えました。

この日は午後2時ごろ、庄内空港に到着。空港の大型消防ポンプ車2台が、放水アーチで出迎えました。

また、到着ロビーでは山伏、オランダちゃん、菜の花むすめ、まめうさが到着客を歓迎したほか、庄内空港利用振興協議会（会長：皆川治鶴岡市長）の関係者が乗客にマスクの着用を呼びかけるリーフレットや、新型コロナの感染が疑われるときの連絡先を書いたチラシを配布しました。

ジェットスター山﨑企画・ネットワーク部長は「心温まるお出迎えをしていただき、感謝しております。出口付近でお客様から『お帰り』『ただいま』の声が聞こえたときはジーンと感じるものがありました。復便出来てよかったと感じています。今後も検温や消毒などの安全対策を徹底し、お客様へ安心・安全な空の旅を提供します。」とコメントしました。

庄内空港利用振興協議会としても、航空会社の安全対策のPRに努め、感染の収束の際には効果的に利用回復に繋げられるよう、関係者と連携して施策展開してまいります。

（総務課連携支援室） TEL 0235－66－5440

HACCPに沿った衛生管理等に関する研修会

2018年6月に「食品衛生法」の改正が行われました。この改正のうち、特に、農水産加工実践者や農産物直売所等では、「HACCP（ハサップ）に沿った衛生管理の制度化」及び「営業届出制度の創設と営業許可制度の見直し」に基づき新たな取組みが必要となります。

そこで、農業技術普及課と庄内保健所が合同で、今後必要となる取組み等についての研修会を行いました。6月から7月にかけて4回開催し、合計230名以上の参加があり、関心の高さがうかがえました。

今回は、小規模事業者が取り組むHACCPの考え方を取り入れた衛生管理、新たな届出制度や営業許可業種の内容とその申請スケジュール等について理解を深めました。

法令に基づく食品の製造・販売は、食関連事業者の責任と義務です。今後も各種研修会の開催を予定しています。

7月10日　研修会の様子

（酒田農業技術普及課）
TEL 0234－22－6521

参考 山形県　HACCPによる衛生管理について

Zoom In

庄内総合支庁って
どんな仕事をしているところ？
そんな疑問にお答えします！

支庁のお仕事　～生活衛生課（食品衛生）～

庄内保健所生活衛生課食品衛生担当は、主に飲食店等の開業の相談受付や営業許可・届出に関する手続きを行っています。また、監視指導計画に基づき食品衛生の向上と食中毒の発生防止を目指し、この夏には浜茶屋・山小屋の監視指導も予定しています！ご存じでしたか？

庄内地域及び県外で生産、製造された食品を対象に細菌検査等を行い食の安心・安全を確保するのも重要な仕事のひとつです。

食品関係者や県民の方々からの食品衛生に関する相談受付や講習会を通じた食中毒予防の普及啓発活動も行っています。

その他、不良食品や食中毒の調査、HACCPによる衛生管理の周知・指導など多岐にわたる仕事を担当しています。誌面には書き切れませんが、興味を持って頂けたら幸いです。

浜茶屋の指導の様子

（生活衛生課） TEL 0235－66－4934

お魚放流体験 in 庄内浜

8月1日(土)、県内各地から親子50名に参加していただき、「お魚放流体験in庄内浜」を遊佐町の吹浦漁港で開催しました。

今回放流を行ったトラフグは、庄内浜で10年ほど前から漁獲量が増えてきた魚種の一つですが、地元でもトラフグが水揚げされることを知らない人が多いのが現状です。

庄内浜で水揚げされるトラフグは主に首都圏に出荷され、地元での流通や食べる文化がほとんどないため、県では2016年からトラフグキャンペーンを開催し、新たな冬の観光資源としてPRを始め、トラフグの県内消費拡大、特産品化を目指しています。また、資源の維持・増大のため、地元漁業者が毎年稚魚の放流活動に取り組んでいます。

このような取組みをより多くの方に伝えるため、一般の方が放流する体験事業を計画しました。

参加者には、この体験を通して水産業に関心を持ってもらえたら嬉しいです。

（水産振興課） TEL 0234－24－6045

密集しないよう3組に
分かれて記念撮影

お知らせ

自転車損害賠償責任保険等への加入が義務付けられました

「山形県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を皆さんご存じでしょうか？

昨年12月から施行されたこの条例では、自転車の点検及び整備を行うこと、自転車に乗る際はヘルメットをかぶるなど安全上の措置を講ずること、施錠等防犯上の措置を講ずること等が求められています。

中でも大きな変更点は、今年7月1日から施行された「自転車保険の加入の義務化」です。自転車利用者は、自転車の利用に係る自転車損害賠償責任保険等への加入が義務付けられました（利用者が未成年の場合は保護者が加入）。万が一のときに困らないように、保険等の加入をお忘れなく！

（総務課防災安全室）
TEL 0235－66－5447

令和2年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」の募集

国土交通省と山形県は、毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、土砂災害防止に関する理解と関心を深めていただくため、各種の行事を行っています。

その一環として、次代を担う小・中学生の皆さんを対象に、土砂災害防止についての啓発を目的とした絵画・作文を募集しています。

募集期間は令和2年9月15日まで。入賞者には賞状及び副賞を授与しますので、奮ってご応募ください。

（河川砂防課） TEL 0235－66－5626

詳しくは 山形県 土砂災害 絵画作文

いのち支える 9月は山形県自殺対策推進月間です

庄内地域では平成30年に51人の方が自殺によって亡くなられています。自殺は生活・健康・仕事・学校など、様々な悩みが複雑に絡み合って発生します。

「眠れない」「憂うつな気分が続く」などの状態はこころの不調のサインかもしれません。庄内保健所では精神科医による相談の他、保健師による相談も随時受け付けています。

まずはご相談ください。

（地域保健福祉課）
TEL 0235-66-4931

庄内 こころの相談

発行／山形県庄内総合支庁 総務企画部総務課 総合案内窓口
〒997－1392 山形県東田川郡三川町大字横山字袖東19－1 TEL:0235(66)5598 FAX:0235(66)283